

(3-1) 生涯学習課所管事業

1. 社会教育総務費	45
2. 野々市市成人式	46
3. 学習情報提供事業	47
4. ののいち市民大学事業	48
5. 生涯学習ボランティア支援事業	49
6. 家庭教育推進事業	50
7. 青少年自然体験事業	51
8. 青少年活動支援事業	52
9. 少年育成センター運営事業	53
10. 野々市市立志式	54
11. 放課後子ども教室推進事業	55
12. 青少年健全育成地域活動推進事業	56
13. 青少年情報メディア対策関連事業	57
14. 生涯学習施設運営・管理	58
15. ののいちマナビィフェスタ	59
16. 寿大学事業	60
17. フォルテ児童合唱団	61
18. 地区公民館支援事業	62
19. 図書館運営・管理事業	63
20. 北国街道にぎわい創出プロジェクト(生涯学習課分)	64
21. 土曜日等の教育活動推進事業	65
22. 地域と学校の連携・協働体制構築事業	66

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		社会教育総務費				所管	部	教育部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	近隣大学や各団体と連携した社会教育の支援体制の充実を図り、市民が自主的、継続的な学習機会を得ることができ、学んだ成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築に努める。					
	事業の内容	年3回の社会教育委員会議を開催し、生涯学習の推進を図る。市内で活動する社会教育団体の育成と補助金の交付を行う。		令和3年度 活動実績	◇社会教育委員会議の開催 3回 ◇各団体への補助金の交付 女性協議会 スカウト育成会 子ども会 PTA連合会 生活学校 各種女性団体連絡協議会 青少年ボランティア団体					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない。			-	-	-	-	-	
事業のコスト	事業内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算					
		国庫支出金 (千円)	0	0	0					
		県支出金 (千円)	0	0	0					
		地方債 (千円)	0	0	0					
		その他 (千円)	0	0	0					
		一般財源 (千円)	3,295	3,127	3,254					
		事業費計 (千円)	3,295	3,127	3,254					

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。	社会教育の振興を図るため、社会教育委員会の中での調査・研究に努める。市内社会教育団体の育成と補助金の交付。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了 (今年度中) F 統合 (今年度中) G 廃止 (今年度中)	理由 社会教育の充実のため、各関係機関の代表や学識経験者からの意見を各事業に反映させることは必要である。 また、生涯学習社会の充実のため、市内社会教育団体の育成は必須である。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		社会教育関係団体への補助金について、社会教育委員の意見を参考にしながら適切に交付を行っていく。	

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		野々市市成人式				所管	部	教育部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務	
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	新成人の前途を祝福するとともに、人生の意義あるステップとなることを目的とする。				
	事業の内容	アトラクション（20年のあゆみビデオ上映）、式典、記念写真撮影、実行委員の募集	令和3年度 活動実績	令和4年1月9日(日) 午前・午後の2部制として開催 内容：アトラクション・式典 運営：実行委員会（13人）を組織し、 自主的な運営を図る。 (R4実績：参加者365人 対象者805人)				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	実行委員会開催回数	回	10	5	5	5	
		参加率	%	-	81	45.4	50	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	「青少年活動支援事業」と 「野々市市成人式」、「野々市 市立志式」を統合し、「青少年 活動推進事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	0	0				
		地方債 (千円)	0	0				
		その他 (千円)	0	0				
		一般財源 (千円)	913	840				
		事業費計 (千円)	913	840				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	-	-	-
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	-	-	-

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	【前年度1次評価】 実行委員会による運営を通して、新社会人の社会参加活動を推進するため、市として式典を継続して開催する。
	C	C	【次年度の方向性】 青少年活動の支援を充実するため事業を統合し、「青少年活動推進事業」とする。		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		今後対象人数の増加が予想されるため、開催方法について検討していく必要がある。 また、新成人（18歳）を対象とした講演会の開催等を検討していく。		

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		学習情報提供事業				所管	部	教育部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務	
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務者に		事業の目的	各種公民館サークルの活動支援			
	事業の内容	公民館サークル募集のチラシを全戸配布及び各公民館の来館者へ配布。		令和3年度 活動実績	募集チラシの配布等、サークル活動の啓発を行った。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない。		-	-	-	-	
事業のコスト	事業内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	「生涯学習施設運営・管理」と「学習情報提供事業」を統合し、「生涯学習施設管理事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	0	0				
		地方債 (千円)	0	0				
		その他 (千円)	0	0				
		一般財源 (千円)	100	39				
		事業費計 (千円)	100	39				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	-	-	-
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	-	-	-

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了 (今年度中) F 統合 (今年度中) G 廃止 (今年度中)	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		インターネットを利用する世代を対象とした発信を目的にSNS等を活用し、発信していく。	

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		ののいち市民大学事業				所管	部	教育部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務	
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市民が18歳以上の市民及び市内通勤・通学の人に		事業の目的	市内及び近隣大学と連携し、情報化や環境保全、地域文化の発信など社会の課題に対応した学びの場を地域住民に提供するとともに、一人ひとりの学習成果を地域に還元できる生涯学習社会の構築を目指す。			
事業の内容	◇コミュニティカレッジ（市民の運営による教養講座） ◇公開講演会（放送大学と連携した公開講座） ◇市民で構成する企画委員会を開催 ※マイ・タウン塾は平成30年度が実施最終年度で、平成31年度からは実施していない（事業終了）		令和3年度 活動実績	◇ののいちコミュニティカレッジ 11講座、延べ271人受講 ◇企画委員会 企画委員会を6回開催				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	参加者数（コミュニティカレッジ、マイ・タウン塾、公開講演会）	人	570	447	271	800	
事業のコスト	事業内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金（千円）	0	0	「地区公民館支援事業」と「ののいち市民大学校」、「ののいちマナビフェスタ」、「寿大学事業」、「フォルテ児童合唱団」、「北国街道にぎわい創出プロジェクト」、「青少年自然体験事業」、「生涯学習ボランティア支援事業」を統合し、令和4年度は「公民館・女性センター支援事業」に移行します。			
		県支出金（千円）	0	0				
		地方債（千円）	0	0				
		その他（千円）	0	0				
		一般財源（千円）	139	132				
		事業費計（千円）	139	132				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度
	今後3箇年の展開	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	—	—

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		幅広い年齢層に受講していただく為に必要な体制の構築や受講内容を検討する。	

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		生涯学習ボランティア支援事業				所管	部	教育部
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務	
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市民から近隣地域住民に		事業の目的	知能・技能・経験を有する地域の方を「学びのサポーター」として登録し、その活動の場を設ける。もって青少年の体験活動の機会の拡大・住民のまちづくりへの参画意識の向上・学社連携の強化を図る。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学びのサポーターの登録：サポーターを随時募集、データベースの作成 ・学びのサポーターの活用：「学びのサポーターと作る夏休み体験」各地区公民館で夏休み期間に体験講座を実施。「地域人材活用助成」各小中学校での地域人材を活用した講座実施を助成。 		令和3年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学びのサポーターの登録：サポーターを随時募集 ・学びのサポーターの活用：「学びのサポーターと作る夏休み体験」各地区公民館で夏休み期間の体験講座を実施。 				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	学びのサポーター登録・活用事業参加者数	人	300	185	210	245	
		学びのサポーター登録数	人	30	25	26	26	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	「地区公民館支援事業」と「ののいち市民中学校」、「ののいちマナビフェスタ」、「寿大 学事業」、「フォルテ児童合唱 団」、「北国街道にぎわい創出 プロジェクト」、「青少年自然 体験事業」、「生涯学習ボラン ティア支援事業」を統合し、令 和4年度は「公民館・女性セン ター支援事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	0	0				
		地方債 (千円)	0	0				
		その他 (千円)	0	0				
		一般財源 (千円)	102	0				
		事業費計 (千円)	102	0				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度
	今後3箇年の展開	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	—	—

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由 【前年度1次評価】 サポーター登録者、活用件数を増やすため市広報やHPなどで、当事業に関する情報提供を行っている。また、「学びのサポーターと作る夏休み体験」には毎年多くの児童が参加しており、地域人材の活躍の場となっている。 【次年度の方向性】 近年、地域のつながりの希薄化が指摘されていることから、公民館が行う市民が主体的に学ぶ 合う場の創出を支援する事業を充実させるため、事業を統合し、「公民館・女性センター支 援事業」とする。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	市広報やHPで学びのサポーター制度の情報提供を行い、活用件数を増やしていくことが必要である。 また、コミュニティ・スクールのボランティア人材バンクとの連携を検討する。		

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		家庭教育推進事業				所管	部	教育部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 4 学び合う、支え合う地域社会づくり				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(1) 家庭教育、子育て支援の充実					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育総合基本計画	根拠法令	社会教育法				事業の開始・終了年度		
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内保護者に		事業の目的	少子高齢化や核家族化、地域コミュニティの希薄化など、保護者や子どもたちがとりまく社会環境が変化中、支え合う地域社会を目指して家庭、地域、学校の連携を強化しながら社会全体で子どもたちの成長を支援する。					
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭教育推進協議会の開催（年2回） ◆家庭教育に関する学習機会の提供 家庭教育学級、幼児家庭教育講座 就学児子育て講座、思春期子育て講座 ◆子育て・学習情報の提供、家庭教育支援 家庭教育サポーターの養成・活動 		令和3年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭教育推進協議会の開催 8月と3月に開催 ◆家庭教育に関する学習機会の提供 家庭教育学級（4校6講座450名※PTA委託）、幼児家庭教育講座（1園15名）、就学時子育て講座（5校585名）、思春期子育て講座（2校463名） ◆子育て・学習情報の提供、家庭教育支援 家庭教育サポーター養成講座の実施（18名受講） 					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	家庭教育学級への参加人数			人	800	105	450	500	
		家庭教育サポーター人数			人	35	24	21	29	
事業のコスト	事業内訳	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	0	0	
		県支出金	(千円)	0	0	0	0	0	0	
		地方債	(千円)	0	0	0	0	0	0	
		その他	(千円)	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	(千円)	315	215	571	571	571	571	
		事業費計	(千円)	315	215	571	571	571	571	

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	さまざまな機会を活用した家庭教育支援。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。家庭教育サポーター養成講座の実施。（隔年で実施）	さまざまな機会を活用した家庭教育支援。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。	さまざまな機会を活用した家庭教育支援。家庭教育サポーターの育成と家庭教育推進。ウェブでの情報発信。家庭教育サポーター養成講座の実施。（隔年で実施）

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	人格形成の基礎である家庭教育の充実をはかることは、青少年の健全育成へつながる。各家庭の自主性を尊重しつつ、必要な取り組みを進める必要がある。インターネットを生活必需品とする現在の子育て世代に対応するため、WEB上での情報発信が求められる。一般社団法人はぐネットと協力し、ニーズを把握しながら、子育て支援情報サイトを活用した情報発信等を継続して行う。各種講座をインターネットを活用して行うことでより多くの学習機会を提供する。
	C	A			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	家庭教育の重要性をさらに周知していく必要があるため、コミュニティ・スクールの事業とも連携し、地域住民や企業との協働により取組を進めていく。			

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		青少年自然体験事業				所管	部	教育部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務	
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学生に		事業の目的	人間性豊かな青少年の健全育成を図るため、地域の人々の協力を得ながら子どもたちに体験の場と機会を提供する。			
事業の内容	◇青少年自然体験：自然の中での体験教室の開催		令和3年度 活動実績	新型コロナウイルス感染症の影響により中止				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない。		-	-	-	-	
事業の コスト	事業 内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	「青少年自然体験事業」と「地区公民館支援事業」、「ののいち市民大学校」、「ののいちマナビフェスタ」、「寿大学事業」、「フォルテ児童合唱団」、「北国街道にぎわい創出プロジェクト」、「生涯学習ボランティア支援事業」を統合し、令和4年度は「公民館・女性センター支援事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	0	0				
		地方債 (千円)	0	0				
		その他 (千円)	0	0				
		一般財源 (千円)	60	0				
		事業費計 (千円)	60	0				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度
	今後3箇年の展開	-	-
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	-	-

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由 【前年度1次評価】 子どもたちの生きる力を育み、人間性豊かな青少年の育成が求められる中で、様々な体験の場と機会を提供する事業として重要である。 【次年度の方角性】 青少年自然体験事業については、ノウハウを有する公民館と連携し、内容の充実を図り、引き続き子どもたちに様々な体験の場と機会を提供していくため、「公民館・女性センター支援事業」に統合する。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		事業の統合を図ることで、これまでの経験やアイデアを共有し、内容を充実させ、年2回（秋、冬）実施していく。	

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		青少年活動支援事業				所管	部	教育部
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務	
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	ボランティア活動、地域交流事業を通して社会・生活体験を深め、豊かな心と実践力を養う。			
	事業の内容	青少年ボランティア団体「ボランティア探検隊飛鳥」におけるボランティア活動、地域交流活動。		令和3年度 活動実績	市事業や公共施設での各種イベント補助。花いっぱい運動やクリスマス工作作りのボランティア、マナビィフェスタでの緑日コーナーの運営など。			
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標	ボランティア探検隊飛鳥 活動日数		日	20	7	8	10
		ボランティア探検隊飛鳥 会員数		人	30	11	12	15
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	「青少年活動支援事業」と「野々市市成人式」、「野々市市立志式」を統合し、令和4年度は「青少年活動支援事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	0	0				
		地方債 (千円)	0	0				
		その他 (千円)	0	0				
		一般財源 (千円)	29	4				
		事業費計 (千円)	29	4				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	—	—	—

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由 【前年度1次評価】 地域行事やボランティア活動など、普段の学校生活や家庭では中々得られない体験ができる。また、子どもたちがそれらの活動へ自発的に取り組むことで養われる福祉精神や意識は、地域社会の基盤づくりにおいても非常に重要である。今後も継続して実施したい。 【次年度の方角性】 次代を担う者としての自立を促す事業の充実をはかるため、青少年活動の支援事業を統合し、「青少年活動推進事業」とする。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		ボランティア団体の新規加入者数の増加のため、市広報紙や市HPでの掲載に加え、学校等への募集チラシの配布や現会員のボランティア活動体験レポート等を通じて活動内容を広く周知する。	

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		少年育成センター運営事業				所管	部	教育部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ハード・ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内店舗及び市民に		事業の目的	地域に密着した啓発活動及び巡視活動を行い、青少年の非行防止及び育成指導を図る。					
	事業の内容	青少年の育成指導及び非行防止と健全育成事業。		令和3年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 専任育成指導員（2人）と少年育成指導員（59人）による街頭巡視活動の実施（夏休み期間以外の放課後の時間帯及び夏休み期間の夜間） 専任育成指導員（2人）によるインターネット巡視活動 					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	街頭巡視活動を行う人数			延べ人数	687	487	538	750	
		インターネット巡視活動を行う人数			延べ人数	170	181	244	220	
事業のコスト	事業内訳	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度予算				
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	0	0	0				
		一般財源	(千円)	4,914	5,644	6,310				
		事業費計	(千円)	4,914	5,644	6,310				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。	街頭巡視及びインターネット巡視活動。運営協議会の設置。店舗対策会議の開催。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	青少年を取り巻く環境は年々複雑さを増しており、それぞれに抱える問題の多様化や低年齢化も進んでいる。その中において、子どもたちと直接関わる街頭巡視、インターネット上の青少年に関する問題を見回るインターネット巡視は、市内青少年の育成指導や非行防止に大きな役割を果たしている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		インターネット巡視は、サービスの多様化に対応するためそのサービス内容を理解していく必要がある。		

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		野々市市立志式				所管	部	教育部
							課	生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務	
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内在住の中学2年生に		事業の目的	人生の分岐点に立つ14歳の少年少女が、自ら志を立て、次代を担う者としての自覚と希望を持つための機会とする。			
	事業の内容	青少年の自立と課題についての講演を中心とした立志式の開催。		令和3年度 活動実績	日程：11月30日（火） 場所：文化会館フォルテ 対象：市内在住中学2年生（561名） 内容：式典（誓いの言葉等） 講演「好きな生き方を実現するためには」 講師 島田高行氏（金沢工業大学 大学院生）			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	立志式出席者数	人	—	504	561	560	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	「青少年活動支援事業」と 「野々市市成人式」、「野々市 市立志式」を統合し、「青少年 活動推進事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	0	0				
		地方債 (千円)	0	0				
		その他 (千円)	0	0				
		一般財源 (千円)	70	54				
		事業費計 (千円)	70	54				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	—	—	—

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	【前年度1次評価】 式典や講演会を通して、立志の意義を知り、大人になることへの心構えについて改めて考える機会となっている。
	C	C	【次年度の方角性】 次代を担う者としての自立を促す事業の充実をはかるため、青少年活動の支援事業を統合し、「青少年活動推進事業」とする。		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		参加者の成長を促すような内容の講演をする必要がある。		

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		放課後子ども教室推進事業				所管	部	教育部		
						課	生涯学習課			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(3) 家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学1年生～3年生に		事業の目的	放課後に地域の社会教育施設や小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達が心豊かで健やかに育まれる環境をつくる。					
	事業の内容	野々市市放課後子ども教室 時間 6月～2月 場所 市内6か所（野々市小学校、女性センター、菅原小学校、富陽小学校、押野公民館、市役所）		令和3年度 活動実績	（学習・文化活動） バブレット・しゃぼん玉、ののいちクイズ、英語であそぼう、プラ板づくり、いきもの道場、フラワーアレンジメント、各種体験活動など 計95回実施					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	参加募集チラシ配布人数			人	1,200	1,200	1,200	1,700	
		参加人数			人	160	30	83	81	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0		0		「放課後子ども教室推進事業」と「地域と学校の連携・協働体制構築事業」、「土曜日等の教育活動推進事業」を統合し、令和4年度は「地域学校協働活動事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	331		1,013					
		地方債 (千円)	0		0					
		その他 (千円)	0		0					
		一般財源 (千円)	198		660					
		事業費計 (千円)	529		1,673					

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	—	—	—

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由 【前年度1次評価】 継続して子どもたちに様々な体験活動を提供するため、地域と関わり合いを持ちながら地域ボランティアの確保に努めたい。事業内容を精査し新しいものを取り入れながら、放課後児童クラブとの連携事業についても推進したい。 【次年度の方角性】 地域と学校の連携・協働体制を構築・充実させるため事業を統合し、「地域学校協働活動事業」とする。
	C	A		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		スタッフ数や会場のお大きさに応じて定員を決定するが、定員を超えて申込があった場合は抽選になってしまうことから、申込者数に応じたスタッフと会場の確保に努めていきたい。	

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		青少年健全育成地域活動推進事業				所管	部	教育部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ハード・ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	家庭、学校、青少年育成関係団体及び地域住民が一体となり、地域に密着した啓発活動・実践活動を展開し、青少年の健全育成活動の推進を図る。					
	事業の内容	地域の社会環境や青少年の実態に対応した青少年健全育成事業。 （“ののいちっ子を育てる”市民会議へ委託）		令和3年度 活動実績	愛と和 ののいち5万人あいさつ運動、子どもと大人のまちぐるみ美化清掃（コロナにより中止）、青少年育成研修会は規模を縮小し、オンラインにて実施。					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	子どもと大人のまちぐるみ美化清掃参加者			人	12,000	0	0	12,000	
事業のコスト	事業内訳	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度予算				
		国庫支出金	(千円)	0	0	「青少年健全育成地域活動推進事業」と「青少年情報メディア対策関連事業」を統合し、令和4年度は「青少年健全育成地域活動推進事業」に移行します。				
		県支出金	(千円)	0	0					
		地方債	(千円)	0	0					
		その他	(千円)	0	0					
		一般財源	(千円)	1,710	1,654					
		事業費計	(千円)	1,710	1,654					

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	—	—	—

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由 【前年度1次評価】 核家族化および地域における地縁的なつながりの希薄化などにより、子どもたちが地域住民とふれあう機会が減少していることから、地域の大人が子どもと接し、周囲から見守る地道な啓発事業を継続することは重要である。 【次年度の方角性】 情報メディア機器等が青少年に与える影響が大きいことから、青少年の健全育成活動や取組を充実させるため、事業を統合し、「青少年健全育成地域活動推進事業」とする。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		令和4年度には幼保小中保護者及び小中学生を対象に「メディアに関するアンケート」を実施。アンケート結果を精査した上で、今後の活動内容に反映予定。またコミュニティ・スクールの開始に伴い、学校と地域の架け橋となる「地域学校協働本部」の充実を図る。	

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		青少年情報メディア対策関連事業				所管	部	教育部	
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(2) 青少年の健全育成					ソフト事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし					単独事業		
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法				
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市内の青少年を有害情報から守り、情報社会における正しい判断力と生活習慣を養うことができるよう、各団体及び機関の自立的な取り組みを支援し、家庭・地域・学校の連携を促すための連絡調整を行う。				
	事業の内容	青少年のメディア問題に関する啓発活動、実践活動を展開し、健全育成活動の効果的な推進を図る。		令和3年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けメディアリテラシー研修会 ・ネット被害・モバイル端末マナーおよび生活習慣の啓発ペーパークラフト等作成・配布 ・情報メディア小・中学校教員研修 ・野々市市青少年メディア対策連絡協議会の開催（年3回） 				
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標	保護者向け研修会参加者			人	200	30	255	200
事業のコスト	事業内訳	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	「青少年健全育成地域活動推進事業」と「青少年情報メディア対策関連事業」を統合し、令和4年度は「青少年健全育成地域活動推進事業」に移行します。			
		県支出金	(千円)	0	0				
		地方債	(千円)	0	0				
		その他	(千円)	0	0				
		一般財源	(千円)	450	430				
		事業費計	(千円)	450	430				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	—	—	—

1次評価

1次評価	前年度1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	【前年度1次評価】 子どもや保護者へ、スマートフォンやインターネット関連機器の正しい知識とそれらが子どもにあたる影響についての学習を促し、子どもを守る必要がある。
	C	C	【次年度の方角性】 情報メディア機器等が青少年に与える影響が大きいため、青少年の健全育成活動や取組を充実させるため、事業を統合し、「青少年健全育成地域活動推進事業」とする。		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		スマートフォンやインターネットの利用が増えているため、危険性に加え、生活習慣に与える影響も併せて伝えていくことが重要である。		

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		生涯学習施設運営・管理				所管	部	教育部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備					ハード・ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	適切な施設管理運営を実施し、市民及び施設利用者に快適な施設利用環境を提供する。					
	事業の内容	(中央公民館・野々市公民館・郷公民館・押野公民館) 維持管理、運営		令和3年度 活動実績	(中央公民館・野々市公民館・郷公民館・押野公民館) 維持管理、運営					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	利用件数			件	5,700	4,189	5,122	5,700	
		サークル数			団体	78	70	71	75	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度予算				
		国庫支出金	(千円)	0	0	「生涯学習施設運営・管理」と「学習情報提供事業」を統合し、「生涯学習施設管理事業」に移行します。				
		県支出金	(千円)	0	0					
		地方債	(千円)	0	0					
		その他	(千円)	6,060	7,090					
		一般財源	(千円)	109,878	106,203					
		事業費計	(千円)	115,938	113,293					

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	—	—	—

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 【前年度1次評価】 公民館は市民から幅広い利用があり、適切かつ計画的な維持管理が必要である。女性センターにおいては女性のニーズや社会状況にあった事業を企画することで、女性の社会参加を支援していく。富奥防災コミュニティセンターにおいては身近な防災施設として防災意識の啓発など関連事業を行っていく。 【次年度の方角性】 生涯学習施設で行う事業を総合的に推進するために、事業を統合し、「生涯学習施設管理事業」とする。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市民及び施設利用者に快適に使用していただけるよう、適切かつ計画的な維持管理に努める。	

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		ののいちマナビィフェスタ				所管	部	教育部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務	
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	生涯学習社会の実現に向け、生涯学習活動の啓発と発表の機会を設けることにより、一人ひとりが生きがいを実感し、生涯学習への意欲を高めると共に参画を促し、生涯学習の一層の振興を図る。			
	事業の内容	にぎわいの里ののいち カミーノ、学びの杜ののいち カレードを会場に市民文化祭を開催。作品展、舞台発表（カミーノステージ発表）、体験コーナー、模擬店などを実施		令和3年度 活動実績	新型コロナウイルス感染症の影響で開催日を3月に延期した。会場はにぎわいの里ののいち カミーノをメイン会場として開催した。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	マナビィフェスタ音楽祭、芸能民謡祭参加者数	人	800	-	-	-	
事業のコスト	事業内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	「地区公民館支援事業」と「ののいち市民中学校」、「ののいちマナビィフェスタ」、「寿大 学事業」、「フォルテ児童合唱 団」、「北国街道にぎわい創出 プロジェクト」、「青少年自然 体験事業」、「生涯学習ボラン ティア支援事業」を統合し、令 和4年度は「公民館・女性セン ター支援事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	0	0				
		地方債 (千円)	0	0				
		その他 (千円)	0	0				
		一般財源 (千円)	1,170	860				
		事業費計 (千円)	1,170	860				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度
	今後3箇年の展開	-	-
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	-	-

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		今後もカミーノをメイン会場とし、さらに充実した内容となるよう、他のイベントとの連携・協力を図る。	

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		寿大学事業			所管	部	教育部	
						課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	2 生涯健康 心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】 3 高齢者と障害のある方の福祉の推進 3 いきいきとした高齢期の実現			区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし				単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	事業の開始・終了年度			
	事業の目的	社会教育法		事業開始	**	年度		
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が60歳以上の市民（大学校）、寿大学の修了者（大学院）に		事業の目的	熟年者が明るく豊かで生きがいのある生活を送るため、高齢社会における課題を把握し、学習活動を通じて知識や教養を身に付けること。また、生涯学習の推進と仲間とのふれあいの場をつくること。				
事業の内容	寿大学校：教養講座、健康講座、パソコン講座、歴史講座、心の講座、パス研修等、年22回の講座を開講する。 寿大学院：ちぎり絵、書、園芸、コーラス、健康体操ストレッチ、歴史、水墨画、加賀の国と日本文学の8コースに分かれて自主的に専門的な学習を行う。		令和3年度 活動実績	寿大学校：教養講座、健康講座、歴史講座、心の講座、パス研修等、年19回の講座を開講した。 寿大学院：ちぎり絵、書、園芸、コーラス、健康体操ストレッチ、歴史、水墨画、加賀の国と日本文学の8コースに分かれて自主的に専門的な学習を行った。				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標	大学校受講者数	人	42	27	37	44	
		大学院受講者数	人	195	232	237	210	
事業のコスト	事業内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	「地区公民館支援事業」と「ののいち市民大学校」、「ののいちマナビィフェスタ」、「寿大学事業」、「フォルテ児童合唱団」、「北国街道にぎわい創出プロジェクト」、「青少年自然体験事業」、「生涯学習ボランティア支援事業」を統合し、令和4年度は「公民館・女性センター支援事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	0	0				
		地方債 (千円)	0	0				
		その他 (千円)	0	0				
		一般財源 (千円)	1,250	1,000				
事業費計 (千円)	1,250	1,000						

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度
	今後3箇年の展開	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	—	—

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由
	C	C	【前年度1次評価】 今後も継続して高齢者に様々な分野の学習の場を提供し、充実した生涯学習を行える環境を整えていく。 【次年度の方角性】 公民館事業をより充実させるため、8つに細分化されていた市民公民館連合会への委託事業を統合し「公民館・女性センター支援事業」とする。	
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	高齢化に伴い、近年高齢者の学習ニーズが高まっている。結果、寿大学校において定員を上回る申し込みがあり、受講できない人も多い。市民の学習ニーズを満たすためにも受け皿を広げることを検討する。		

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		フォルテ児童合唱団				所管	部	教育部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務	
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学1年生～6年生（中・高校生も可）に		事業の目的	コーラスを通じて色々な歌に親しみ、情緒豊かな感性を養うとともに、学校や学年を超えた仲間作りを行う。			
	事業の内容	定例活動日時：毎週金曜日、午後4時30分～6時 その他：他団体とのジョイントコンサート、マナビィフェスタ、椿まつりなどに出場		令和3年度 活動実績	定例活動日時：毎週金曜日、午後5時～6時30分 その他：各種コンクールなどに出場 コロナ禍により会員数の減少や活動に大きな制限を受けた。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	団員数	人	50	27	22	50	
事業のコスト	事業内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	「地区公民館支援事業」と「ののいち市民大学校」、「ののいちマナビィフェスタ」、「寿大学事業」、「フォルテ児童合唱団」、「北国街道にぎわい創出プロジェクト」、「青少年自然体験事業」、「生涯学習ボランティア支援事業」を統合し、令和4年度は「公民館・女性センター支援事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	0	0				
		地方債 (千円)	0	0				
		その他 (千円)	0	0				
		一般財源 (千円)	200	200				
		事業費計 (千円)	200	200				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度
	今後3箇年の展開	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	—	—

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		活動内容の充実を図るため、発表の機会を広げる。	

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		地区公民館支援事業				所管	部	教育部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務	
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民及び市内勤務の人に		事業の目的	地域の連帯及び生涯学習意欲の向上を目指し、各地区公民館を活動の拠点として、地域に根ざした種々の行事、教室等の場を提供することにより、地域住民のより一層の向上を目指す。			
	事業の内容	地区の公民館では、運動会、教養講座、レクリエーション及びふるさと教育等を実施し、地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。		令和3年度 活動実績	地区の公民館では、教養講座、レクリエーション及びふるさと教育等を実施し、地域住民の親睦と融和を図るとともに、公民館を中心とした生涯学習活動の場を提供。 なお、新しい事業として市公民館連合会主催による映画「いのちの停車場」上映会を行った。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない。		-	-	-	-	
事業のコスト	事業内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	「地区公民館支援事業」と「ののいち市民大学校」、「ののいちマナビフェスタ」、「寿大 学事業」、「フォルテ児童合唱団」、「北国街道にぎわい創出プロジェクト」、「青少年自然体験事業」、「生涯学習ボランティア支援事業」を統合し、令和4年度は「公民館・女性センター支援事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	0	0				
		地方債 (千円)	0	0				
		その他 (千円)	0	0				
		一般財源 (千円)	4,550	3,780				
		事業費計 (千円)	4,550	3,780				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度
	今後3箇年の展開	-	-
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	-	-

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	【前年度1次評価】 運営審議会での意見や住民の要望を取り入れながら、地域に根ざした事業を実施していく。
	C	C	【次年度の方向性】 公民館事業をより充実させるため、8つに細分化されていた市公民館連合会への委託事業を統合し「公民館・女性センター支援事業」とする。		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		近年、郷公民館のウォーキングや富奥公民館の文芸講座など、地域色のある事業を新しく始めた。今後もこのような事業を発展させていくとともに、地域課題や地区住民のニーズに合った新たな事業を実施できるよう支援する。		

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		図書館運営・管理事業				所管	部	教育部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(1) 生涯教育と社会参画の推進					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	図書館法						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民、市内勤務・通学の方、石川中央都市圏の住民に。		事業の目的	利用者が必要とする多様な資料や情報の提供ならびに市民の読書を推進する。					
事業の内容	資料の収集、整理、提供、図書の貸出・返却等業務、レファレンスサービス、学校図書館の支援及び連絡車の運行、ボランティアの育成及び活用、市民学習センターの運営など。		令和3年度 活動実績	コロナ禍のため、開館時間を短縮をするなどの、感染拡大防止に努めながら運営を行った。図書館と市民学習センターの複合施設であるメリットを生かし、図書展示、展覧会、ワークショップ、屋外イベント等、様々な事業を実施した。						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	貸出冊数			冊	—	530,759	608,216	610,000	
		貸出人数			人	—	117,070	134,336	134,000	
事業のコスト	事業 内 訳	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	5,324	7,964	5,340				
		一般財源	(千円)	308,675	321,208	322,431				
		事業費計	(千円)	313,999	329,172	327,771				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	引き続き民間事業者による図書館運営	引き続き民間事業者による図書館運営	引き続き民間事業者による図書館運営

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度に減少していた貸出冊数や人数が、令和3年度には再び増加した。依然として多くの市民に利用されていることから、今後も蔵書や行事の新鮮さに気を配りながら、現状維持に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市民にとっての利用しやすさを重視したサービスが行われるよう、事業者に対し、必要な協力・支援を行っていく。 また、カミーンやフォルテなどの施設と連携し、野々市中央地区のにぎわい創出に資する事業を実施する。		

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		北国街道にぎわい創出プロジェクト（生涯学習課分）				所管	部	教育部
						課		生涯学習課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実				区分	自治事務	
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(5) 生涯学習環境の整備					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	13 公有地・施設の計画的管理・活用					補助事業	
	実施根拠となる 分野別計画	なし	根拠法令	なし		事業の開始・終了年度		
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民全般に		事業の目的	野々市中央地区に賑わいを創出する		事業開始	平成30 年度
	事業の内容	野々市中央地区に賑わいを創出するため、にぎわいの里ののいち カミーノを活用した事業を行う。 その事業の担い手として、事業企画推進員を育成する。		令和3年度 活動実績	事業企画推進協議会の活動として、カミーノにおいて、季節に合わせた展示を6回開催し、これに伴うワークショップやイベントを3回開催した。また、ののいちGENKIイルミネーションプロジェクトに実行委員会として参加した。		事業終了	令和3 年度
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	中央公民館入館者数	人	55,000	110,731	131,363	150,000	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	「地区公民館支援事業」と「ののいち市民大学校」、「ののいちマナビフェスタ」、「寿大 学事業」、「フォルテ児童合唱 団」、「北国街道にぎわい創出 プロジェクト」、「青少年自然 体験事業」、「生涯学習ボラン ティア支援事業」を統合し、令 和4年度は「公民館・女性セン ター支援事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	0	0				
		地方債 (千円)	0	0				
		その他 (千円)	0	0				
		一般財源 (千円)	2,110	121				
事業費計 (千円)	2,110	121						

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度
	今後3箇年の展開	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	—	—

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由 【前年度1次評価】 事業企画推進協議会として、カミーノの賑わい創出のために季節展示・ワークショップなどを企画し実施した。今後は、カミーノだけではなく、カレードや他地区公民館との連携など、活躍の場を広げていく。 【次年度の方角性】 公民館事業をより充実させるため、8つに細分化されていた市公民館連合会への委託事業を統合し「公民館・女性センター支援事業」とする。
	C	A		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	活動の範囲を広げるために、委員の増加が必要になる。活動に興味を持って委員になってもらうため、活動の周知・PRが重要となる。また、季節展示・ワークショップ以外の活動に、委員の意識を持っていく働きかけが必要と感じる。		

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		土曜日等の教育活動推進事業				所管	部	教育部		
							課	生涯学習課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 3 青少年の健全育成				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	社会教育法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小学生を対象に		事業の目的	土曜日等における子どもの教育活動を市内の学校や公共施設等を活用して実施することにより、子どもたちの体験活動の機会を広げる。また、地域の大人の事業運営や事業への参加をとおして、子どもの育成に関わる大人を増やし、地域社会全体における子どもたちを心豊かに育む気運を高める。					
事業の内容	土曜日や長期休暇にこどもミュージアムの実施		令和3年度 活動実績	こどもミュージアム 日程：8月19、20日、10月30日、1月22日 場所：にぎわいの里のいち カミーノ 内容：デザイン、アート、語学、音楽、プログラミング 申込者：54名						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	参加人数			人	200	74	57	70	
事業のコスト	事業内訳	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0		0		「放課後子ども教室推進事業」と「地域と学校の連携・協働体制構築事業」、「土曜日等の教育活動推進事業」を統合し、令和4年度は「地域学校協働活動事業」に移行します。			
		県支出金 (千円)	166		200					
		地方債 (千円)	0		0					
		その他 (千円)	0		0					
		一般財源 (千円)	134		100					
		事業費計 (千円)	300		300					

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	—	—	—

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了 (今年度中) F 統合 (今年度中) G 廃止 (今年度中)	理由 【前年度の1次評価】 学校や家庭ではできない体験活動を継続して提供していきたい。 【次年度の方角性】 近年、地域全体で子どもたちの豊かな人間性を育むことの重要性が高まっていることから、地域での安全で安心な居場所づくりの取組を推進するため、事業を統合し、「地域学校協働活動事業」とする。
	C	A		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		小学生を対象として実施しているが、中学生を対象に加える等、対象年齢や内容を充実させるよう検討していきたい。	

令和4年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和3年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		地域と学校の連携・協働体制構築事業				所管	部	教育部	
							課	生涯学習課	
事業の概要	総合計画 該当施策	該当なし				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	該当なし					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	該当なし		根拠法令	社会教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	近隣地域住民と学校が小中学生に		事業の目的	子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化していることから、課題の解決や子どもたちの豊かな成長のために「地域総がかり」での育成に取り組む。				
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から市内各小中学校に学校運営協議会と地域学校協働本部（市生涯学習課内）の設置に向けた準備 地域学校協働活動ボランティアの募集 		令和3年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度からの学校運営協議会設置に向けた学校運営協議会準備委員会の開催 年4回（7月、10月、1月、2月） コミュニティ・スクールパンフレットの作成 6,000部 				
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標	数値指標の設定になじまない					-	-	-
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金	(千円)	-	0	「放課後子ども教室推進事業」と「地域と学校の連携・協働体制構築事業」、「土曜日等の教育活動推進事業」、を統合し、令和4年度は「地域学校協働活動事業」に移行します。			
		県支出金	(千円)	-	0				
		地方債	(千円)	-	0				
		その他	(千円)	-	0				
		一般財源	(千円)	-	391				
		事業費計	(千円)	-	391				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	-	-	-
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	-	-	-

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	【前年度1次評価】 子どもたちの生きる力を育み、人間性豊かな青少年の育成が求められる中で、様々な体験の場と機会を提供する事業として重要である。
	C	A	【次年度の方向性】 地域住民等が子どもたちの育成に関わる事業を充実した内容にするため、「地域学校協働活動事業」として統合します。		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長には「家庭・地域・学校」が連携・協力することが不可欠であることから、幅広い地域住民等が子どもたちの育成に関わっていただけるような仕組みを考え、広く周知していく必要がある。		

・(3-2) 学識経験者からの意見

【生涯学習、青少年、図書館関係】

コミュニティ・スクールは、地域との連携を図るよい起爆剤になると思います。

「家庭・地域・学校」の連携と協力によって、幅広い地域住民等が子どもたちの育成に関わりを持てる「地域とともにある学校」への転換を図っていただきたいです。

子どもの健全育成のために家庭教育は重要なので、人と人のつながりが希薄になり、孤立しがちな若い親をサポートする事業の充実をお願いします。今後は対象となる保護者の声を聞き、ニーズを反映した施策を構築することを提案します。

放課後子ども教室は、放課後児童クラブとの連携強化、地域ボランティアの確保を図り、参加希望者が1人でも多く参加できるよう努めてください。

青少年ボランティア団体によるボランティア活動や地域交流活動、フォルテ児童合唱団の活動なども、次代を担う青少年の豊かな心と社会性を培う大切な活動です。より多くの児童生徒が活動に加わり、活動がより一層充実することを期待します。

地区公民館には、地域課題への取組の拠点としての役割も期待されており、市の関係各課と連携の上、地域のニーズに応える取組を行っていただきたいです。

カレードの利用者が増加傾向にあるのは、住民サイドに立った運営がなされているからと考えます。今後も、住民が必要とする資料や情報の提供、魅力ある行事の実施など、複合施設のメリットを最大限に活かし、更なる利用者の拡大に繋げていただきたいです。また、フォルテやカミーノとの連携事業にも期待しています。

コミュニティーカレッジと公開講演会は、幅広い年齢層の市民の多様なニーズを応えられるよう、それぞれの内容を尊重し合いながら継続・拡充してもらいたいです。

・(3-3) 今後の方針

【生涯学習、青少年、図書館関係】

- ①大人と子どもが、地域社会の中で学ぶ体験は貴重であると考え、多くの人々が学びに参加することを念頭に置きながら、青少年ボランティア団体によるボランティア活動や地域交流活動、フォルテ児童合唱団の活動などを行っていきます。
- ②放課後子ども教室の需要の高まりを受け、コミュニティ・スクールによるボランティア登録制度を活用し、運営に必要な人員を確保していきます。また、放課後児童クラブとの連携の強化を図ることに努め、学習活動やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組を実施していきます。
- ③家庭の教育力を高めるため、家庭教育における現状の把握やニーズ調査を行い、充実した施策の構築に取り組んでいきます。
- ④様々な地域課題や市民ニーズを常日頃から把握し、それに応じた取組を、公民館事業、図書館事業などを通して実施してまいります。各事業は、市内の施設等との連携の可能性を常に検討しながら、効果的に行ってまいります。
- ⑤コミュニティーカレッジ等の講座には、若い世代の方にとって関心の高いテーマを取り入れ、幅広い年代の方が参加される事業となるよう工夫してまいります。